

3

《チルに関わっての印象》
通りすがりの人だけではなく、「人と話したい」という思いをもって参加してくれる方が思っていたよりも多いという印象でした。初めて会うスタッフと話していく中で自分の悩みを打ち明けてくれる子もいて、オープンスペースだからこそ開放的で話しやすい空気感がでるのかなと感じました。

今年度は若者の披露の場としても様々なイベントを予定しています。若者世代が自己表現できる場として、過ごしやすい環境づくりにつながることを期待しています。私たちスタッフ側がつくる居場所ではなく、チルの場にいる人々が創り上げるスペース（居場所）として機能していったらいいなと思っています。



若者の居場所づくり
#栄でチルする？ 3年目
早川 茉優希

1

< (社) 愛知PFS協会 活動理念 >
すべては
一人ひとりの未来のために

誰もが自分の未来のために歩いていける社会を、いろいろな人との関わりの中で創り上げてほしい。そのために、ひとりひとりと向き合い、歩いていく。
一般社団法人 愛知PFS協会は、「ひとりひとりの未来へのサポート (Personal Future Support)」を活動の中心に置いています。思春期・学齢期の不登校、ひきこもり、非行、自他傷、いじめ、貧困など多様な社会課題と向き合ってきました。今後も、ひとりひとりの子どもたちが明るい未来を描けるよう、子ども本人、ご家族を中心に地域の方、他支援機関など、子どもたちに携わるすべての方と共に、活動を続けて参ります。

協会理事
大山 娃里

2

名古屋みらい高等学院を
卒業して2年（現：中和医療専門学校3年生）

R・Mさん

《入学までの経緯》中学卒業後、金銭的な理由で入学直前に進学を断念。その時は「自分の人生はここで終わった」と思いました。紆余曲折あり、区役所の方からの紹介で「名古屋みらい高等学院」を知り、編入学。
《名古屋みらい高等学院での学校生活》入学後は担任の先生と二人三脚の学校生活。思いの他時間があり、遊びもアルバイトも思いっきりした。先生はいろいろなことで助けてくれて、「一人でやろうとしない」、「やるべきことは、ちゃんとやる。そうすれば目標は達成できる」ということを教えてくれました。

《これからのPFSへ卒業生としてメッセージ》
月日がたっても、全然変わらないPFSにホッとします。自分の事情を分かってくれて二人三脚で寄り添ってもらえたことがすごく嬉しかった。これからも色々な子が入学すると思いますが、どんな子でも寄り添ってくれるようなPFSであり続けて欲しいです。



2024年
PFS設立10周年を迎える

2022年8月
名古屋市子ども・若者の居場所づくりモデル事業
「#久屋でチルする？」（現：#栄でチルする？）開始

2018年8月
名古屋市家庭訪問型訪問支援事業
「よりそい訪問サポートなごや」開始

2017年
名古屋市若者自立支援ステップアップ事業
「みらie。」（北部ステップアップルーム）開始

名古屋市ひとり親家庭の子ども
の居場所づくり事業「あしたネ。」開始

感

謝

2016年7月
名古屋市中中学生への学習支援
高校生世代への学習・相談支援事業
「PFS学習会」を開始

2016年
少年院への面会交流スタート
(Personal Future Support)

2015年7月
児童発達支援／放課後等デイサービス
「アフタースクールPFS」開所

2014年6月
広域通信制高校サポート校
「名古屋みらい高等学院」開校

2014年1月
2人の家出少年のサポートから
“一般社団法人愛知PFS協会”設立
Personal Future Support事業開始

Since 2014

ひとり親家庭の
子どもの居場所づくり
あしタネ。9年目
深谷さん

初年度から関わってくれている
サポーターさんにお話を聞きました！

歴代のあしタネ。の イベントTOP3！



- 1位 カラオケ大会
- 2位 ビンゴ
- 3位 調理イベント



あしタネ。も間もなく10thですが、年数がたっても変わらないなあと感じることは？
あしタネ。は何年たっても変わらないことの方が多気がします。(雰囲気、取り組み…
など) 変わらない場所こそがあしタネ。なんだと思っています◎

あしタネ。を利用したいと思っている子どもたちにメッセージを
あしタネ。の会場をぜひ見に来てもらいたいです！来たいとき
だけ行こうかな、そんなゆる〜い気持ちで全然OK
なので、みんなで待っています◎

そして
10年目！

(2024/08/24) PFS10周年感謝祭を開催しました！

地域の皆さまをはじめ、卒業生、
支援機関の方等にこれまでの感謝の気持ち
を伝えるために、「PFS10周年感謝祭」を開催
し200名近い方にご来場いただきました。オープニ
ングセレモニーの菓子まきから始まり、みらい高等学院の
生徒によるカフェ、アフタースクールPFSによる縁日、名古屋
市中消防署の方による地震体験車等、様々な催しを行い
ました。また、地域にお住まいの方によるボランティアや、
中区の子ども食堂の方(おいまつ地域食堂様、おばちゃん
食堂様)等、多くのご協力をいただき、イベントを通じて
地域間の繋がりを深めることができました。改めて
皆さまとの縁を大切に、「すべては一人
ひとりの未来のために」精進して
まいります！



8

若者自立支援
ステップアップ
みらie。8年目
大澤 祐斗



《みらie.について教えてください》
みらie.には不登校・引きこもり・家庭環境に悩み
があったりと、様々な事情を抱えた方が来所しており、
今の場所から一歩でも踏み出し「そこから動き始めること」
を大事にしています。日々のプログラムやコミュニケーションを通し
て、ご家庭以外の場所で気持ちを楽に過ごすこと、何気ないことで笑い
あうこと、そんなことを通してステップアップすることを目指しています。
《みらie.をこんな場所にしていきたい！という目標を教えてください》
自立に向けて、「スタート地点」としての機能を高めていきたいと思ってい
ます。一度立ち止まり、スタッフや仲間と一緒に、「これからの自分の人生を
見つけるためのスタート地点」。いろいろな経験を通して、誰かから言わ
れる人生ではなく、自分から「やってみようかな」という気持ちを醸成
していく、そんな場所にしていきたいです。そして、ご本人はもちろん
、保護者の方が子どもの為に「何かしてあげたい」という
ような気持ちにも寄り添い、手助けできるような
体制を強化していきたいと考えています。

9

PFS学習会 6会場

6



集中してみんなで勉強、
分からないことはないかな？



学年の垣根のない、
親しみやすい場



楽しく笑って、
明るくなる場所

「居場所」×「学びの場」

PFSの学習会は、
勉強はもちろん、子どもたちがホッと過ごせ、
様々なことを体験できる場所づくりを重視しています。



「一緒に」
二人三脚で勉強しよう



自分のペースで
一緒に学ぼう



少人数で和気あいあい
家族のような仲間

よりそい訪問サポートなどやスタッフ兼
日本福祉大学通信教育4年生

井口 泰雄



私はPFSに入社する前、12年
間現場で工事監督をしていました。
大学に通うと決心したきっかけは、福祉業界に
転職して痛感したこの職種での知識経験の不足です。
働きながらの勉強はかなり困難な道でした。ですが、
持ち前の元気とやる気、周りのサポートが力となり今年
4年生を迎え、卒業単位確定、社会福祉士国家試験受験
資格を得ることができました。振り返ってみると大変
と思う以上に素敵な経験が思い出として蘇ります。
スクーリングで出会った新たな仲間もそうです。
得た知識、経験、仲間と共に、これからも
精進していきたいです！

4

よりそいの発足当時はまるで
巨大なプラモデルを作っているようで
楽しかったです。しかし、他社で事業として行っ
ている所が皆無だった点に大変苦労しました。
活動の中で、始めはひきこもって暗い部屋の隅でじっ
とうずくまっていたような子が、訪問によって徐々に心を
開き、のちにみらい高校に元気に通うようになり、友達を
作り、無事に卒業しさらに就職が決まったと本人から
聞いた時には、自分の事のように嬉しかったです。
この先、本活動が名古屋から全国に広がっていき、
1件でも上記のような事案が増え、1件でも
悲惨な事件が減る事を祈るばかり
です。

7

よりそい訪問サポートなどや 7年目
田中 陽之介



アフタースクールPFSでは、
子どもたちにとって安心できる居場所の
提供を目指し5人のスタッフで支援をしています。
その中でスタッフ全員が「一枚岩」となり、子ども
たちが発信する小さなサインをキャッチすることで、
子どもたちのことを理解し寄り添うこと、その上で秘めら
れた可能性をたくさん発見し伸ばすことを大切にしています。
また、当事業では笑顔あふれる居場所にするため、
スタッフ自身の幸せにも目を向け、その笑顔子ども
たちに伝わるように、常に精進・研鑽をしつつ、
「毎日が一本勝負!!」という気持ちで日々
子どもたちと関わっています。

5

アフタースクールPFS スタッフ5人
村川 公子

BRIGHT FUTURE

10周年の感謝

ある中学生に英語を教える機会がありました。その日の内容は「時制」。

そして、未来形の問題を差し出された時、私は彼にこう伝えました。

「英語に未来形はないんだ。」もちろん、未来を表すための表現はたくさんある。

でも、それはすべて自分の意志や未来への想像などをするものなんだ」と。少なくとも私はそう認識して表現している。

私たちの団体の理念である「すべては一人ひとりの未来のために」。

この言葉には、人生において未来は自分の意志で選択し、歩いていくものだという願いが込められています。

「英語には未来形はない」という考えが、私にとってはとても自然でしっくりくる。

愛知PFS協会も、設立から10年を超え、11年目を迎えることができました。

10年以上前、私たちは小さな一歩からスタートしました。

未来のことは誰にもわかりませんが、私たちの意志で選択し、精一杯やってきた結果が今ここにあります。

これからも、私たちは未来に向けて歩み続けます。

なぜなら、未来は私たち一人ひとりが選ぶものであり、その道を歩むための力を持っていると信じてるからです。

何よりもこの10年間で得た最大の宝物は、支えてくださってきた皆さんとの信頼関係です。

私たちを信じ、共に歩んでくださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。

この10周年はあくまで通過点に過ぎません。これからも私たちは、新しい挑戦に果敢に取り組み、さらなる成長を目指してまいります。

皆さまと共に、これからの10年も素晴らしいものにしていきたいと考えています。

最後に、改めてこれまでのご支援に感謝し、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 愛知PFS協会 代表理事 星野 智生

ご協力・ご支援のお願い

愛知PFS協会の活動は、様々な方のご協力やご支援により、充実した活動支援が行えるようになります。

当団体の事業には名古屋市からの助成金を受け実施しているものもありますが、Personal Future Support事業

等は完全に個人や法人からの寄付金に頼らざるを得ない状況にあります。今後、一人でも多くの子どもたちや、

その保護者に対し、サポートが届けられるようみなさまからのご支援、ご協力が必要です。みなさまからの暖

かいご支援よろしくお願いいたします。

金融機関名

ゆうちょ銀行

口座情報

店番 218 口座番号 9433602



詳しくは↓



感想・ご要望

入力フォーム↓



PFS広報誌 (Vol.10) をご覧いただきありがとうございます。

愛知PFS協会では、広報誌のご感想や当団体の活動へのご意見をお待ちしております。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

10周年にあたり 関係機関の皆様からもコメントをいただきました

名古屋市子ども青少年局子ども未来企画部
子ども未来企画課・青少年家庭課 様

愛知PFS協会の設立10周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

本市と貴協会は、子ども・若者の支援において、この10年間互いに補完し合い、連携し共に歩んできた関係であると認識しており、貴協会には、「若者自立支援ステップアップ事業」や「家庭訪問型相談支援事業」など本市のさまざまな事業を委託させていただいております。

本市で実施しております「ナゴヤ型若者の就労支援」においては、年間延べ1,700名ほどの困難を有する子ども・若者に対して、自立に向けた支援を行っている状況であり、子ども・若者の相談の主訴には変化がみられるものの、利用者数は例年ほぼ横ばいの傾向となっております。

未だ多くの子ども・若者が自立に向けて困難を有しており、今後もより一層の取り組みが必要ななか、若者の自立支援に向けて、本市と民間団体との連携は不可欠なものと認識しており、お互いの強みを活かし、若者たちの未来への道を切り拓いていきたいと考えております。この記念誌が、愛知PFS協会の10年間の歩みを振り返り、未来への展望を描く場となることを祈念しております。

名古屋市区役所民生子ども課 様

区役所の民生子ども課は、家庭訪問型相談支援事業でPFSさんと関わる事が多く、日ごろ多くのご家庭を支援していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

事業を通じて感じるのは、スタッフの皆さんが本当に素敵な方ばかりだということです。年代問わず多彩な特技を持つ支援員さんがいらっしゃることで、子どもたち一人ひとりの関心・ニーズに合わせた訪問調整をしてくださっています。

家庭の雰囲気や家族の距離感、子どもの気持ちをくみ取り、子どもや家庭の困りごとに向き合ってくださるのはもちろんのこと、時には子どもの代弁者となり、保護者担当の支援員さんを派遣することで親子関係の調整を行っていただくケースも少なくありません。区役所職員では聞くことができない子どもの本音に、まさに「よりそい」ながら支援をしてくださいます。

また、困難ケースにも粘り強く向き合ってください。親子関係不調の世帯に支援を導入しましたが、なかなか保護者の理解を得られないことがありました。保護者を繰り返し説得し、子どもの反応に合わせたきめ細い支援により、最終的にはうまく支援がつけられました。このケースは家庭の都合で他区へ転居しましたが、転居後も訪問支援員さんが変わらず支援をしてくださっています。行政の狭間を埋め、居住区が変わっても切れ目のない支援をしていただけるのはPFSさんの大きな強みのひとつであると感じています。

閉ざされてしまった子どもの気持ちに根気強いかかわり、愛情を持ってよりそってくださるスタッフのみなさんの姿勢は、同じ「子どもの支援者」である私たちにとっても支えになっています。そして時には、支援について相談できる心強い存在でもあります。

少しでも多くの子どもの悩みや不安を軽減できるよう、今後もPFSさんのお力を借りながら、子どもたちや子育て家庭の支援に取り組んでいけたらと思っています。これからもよろしくお願いいたします！

名古屋市区役所支所福祉課 様

OPFSの関わり

名古屋みらい高等学院に通っている児童を家庭内での養育困難で担当した時に、連携していただいたのが代表の星野さんでした。その際は、児童の意向や内面を汲み取り、方法に対し様々な支援に助言いただきました。現在も不登校や引きこもり等の児童へご支援いただくため家庭訪問型相談支援事業の派遣の依頼や情報共有のためご支援いただいています。

OPFSの印象

児童の支援において最も基本である子どもの意見や意思を、その家族の背景を含め汲み取り、フォーマル・インフォーマル関係なく支援してくださっている印象です。家庭訪問型相談支援事業においても、支援として関わる中で児童自身との関係構築を優先し、そのためにご尽力されていると思います。

〇これからのPFSに期待すること

区役所・支所子ども担当としては様々な相談を受け付け、その児童が家庭や学校にて安全で安心した生活が送れるよう支援をしており、その件数は年々増加傾向にあります。私どもの訪問頻度にも限界があります。

PFSへは児童の意見や意向を関係構築の中で家庭的背景を含め聞き出していただき共有することなど、重層な支援の役割を担っていただきたいと思っています。今後とも手を取り合って子ども達の支援をしていただきますようよろしくお願いします。

NPO法人

再非行防止サポートセンター愛知 様

一般社団法人愛知PFS協会の皆様、10周年おめでとうございます。

NPO法人再非行防止サポートセンター愛知は、

いつもお世話になりっぱなしで、心から感謝と尊敬をしています。

これまで一緒に関わらせてもらった子たちを振り返ってみました。名古屋みらい高等学院への入学希望者としてサポートをお願いさせてもらった子たちは13人もいました。男子は10人、女子は3人。その内、少年院に面会に行っていたのは7人、高校卒業資格をGETできたのは6人。高校卒業まで届かなかった子たちにとっても、大切な機会となったと思います。

今年の秋からも1人がお世話になる予定で14人目になります。一貫しておられるのは、サポートの相談をさせてもらって一度も断られたことがないことです。その後も、学校でご迷惑をおかけする事があっても、本人に寄り添っていただけました。

勉強に自信がなくなり、非行の道に入り、少年院に入っても、もう一度、学び直せる学校があることは、「大きな希望」であり、本人の立ち直りにも効果的であり、結果として被害者を増やさないことに繋がります。

私たちはこれからも、罪を犯した青少年が、学校での学び直しを希望したときには、真っ先に「名古屋みらい高等学院」思い浮かべます。

今後ともよろしくお願いいたします！